

発掘へんろ テーマ展「義経とその時代」

と ぎ 土佐 高知県



蝙蝠扇

(財)高知県埋蔵文化財センター提供

かわほりおうぎ 蝙蝠扇

遺 跡 名：林口遺跡(高知県土佐市高岡町林口)
時代・時期：平安時代末～鎌倉時代(12世紀後半～13世紀初頭)

この扇は、蝙蝠扇と呼ばれるもので、片面に紙を貼って使用されました。扇骨6枚と要が遺存しており、「格狭間」の透かし彫りが施された替彫骨の扇です。

蝙蝠扇は、檜扇とともに若い公家や武士層にも愛用されたと考えられています。

なお、林口遺跡周辺は平重盛の家臣、蓮池権守家綱の本領地とみなされています。

あ ぬ ぎ 讃 岐 香川県



七連巴文軒平瓦

香川県埋蔵文化財センター提供

ななれんどもえもんのかひらがわら 七連巴文軒平瓦

遺 跡 名：丸山窯跡(香川県綾歌郡綾南町陶)
時代・時期：平安時代後期(12世紀後半)

瓦頭面(正面)には7個の左巻き(ともえもん)の巴文の装飾があります。凹(上)面には布目、凸(下)面には縄タタキ目などの製造用具の痕跡が見られます。この瓦と同じ文様のものは、京都法住寺殿や六波羅密寺など、旧平安京内の遺跡からも発見されています。

あ わ 阿 波 徳島県



青磁碗(龍泉窯)

(財)徳島県埋蔵文化財センター提供

せい じ わん 青磁碗

遺 跡 名：徳島県徳島市敷地遺跡(徳島市国府町敷地)
時代・時期：鎌倉時代前期(13世紀中～後半)

中国で生産され、日本に輸入された青磁碗です。龍泉窯産の碗は外面に蓮の花を模倣した鎬連弁文が施され、同安窯産の碗は内面に細かい櫛描きによる劃花文が施されています。当時でも貴重なものであったため、有力者などが所有していたと考えられます。



ちゆうせい ぼ ふく そう ひん 中世墓副葬品

遺跡名：大相院遺跡(松山市北条善応寺)

時代・時期：12世紀前半～13世紀前半

中世河野氏の本拠地である善応寺地区の土坑墓から粘板岩製の風字硯・短刀・龍泉窯系劃花文青磁碗が見つかりました。風字硯の背面には3人の人物を描いた線刻の戯画があります。

土坑墓から出土した青磁碗・短刀・硯

(財)愛媛県埋蔵文化財調査センター提供

こしゅう ろつ かきょう 湖州六花鏡

遺跡名：古照遺跡8次調査地

時代・時期：鎌倉時代前半(13世紀前半)



土坑墓から、人骨片や土師器碗・瓦器小皿・白磁碗の破片、炭化米・炭化材のほかに、舶載鏡が1面見つかりました。この鏡は湖州六花鏡という中国浙江省湖州で作られた銅鏡で、我が国で発見される宋鏡の代表的なものです。鏡の形は六花形で、背面の中央に紐を通す鈕がつき、銘文には「湖州石十五ノ郎鍊銅照子」と作鏡者の名前が鑄られています。この墓は、これら副葬品や整然と並ぶ大小の建物群の中心的な屋敷近くに作られていたことから、村の名主など身分の高い人が埋葬されたと考えられます。なお、12世紀代から13世紀前半にかけて墓への鏡の副葬は全国的な広がりを持ち、道教や陰陽道信仰の系譜を引く「鬼から遺体を守る僻邪の呪具」として副葬されたと考えられています。

湖州六花鏡

(財)松山市生涯学習振興財団埋蔵文化財調査センター提供



- 会 期：平成17年7月8日(金)～7月24日(日)
- 会 場：愛媛第二会場 湯築城資料館 武家屋敷2
- 開館時間：9：00～17：00 ※7月11日(月)・7月19日(月)は休館
- 観覧料金：無 料

この資料は第二回 四国埋蔵文化財センター巡回展「発掘へんろ～遺跡で巡る伊豫・土佐・讃岐・阿波～(松山市考古館：財団法人松山市生涯学習振興財団埋蔵文化財センター)で使用された資料からテーマ展の一部を抜粋したものです。